

保育施設 基本情報

園・施設名	社会福祉法人ゆうゆう 幼保連携型認定こども園 すみよし愛児園
経営主体	社会福祉法人ゆうゆう
所在地	〒400-0851 山梨県甲府市住吉3丁目24-20
定員	50名(1.5ヶ月～就学前) ○保育認定区分(保育園) 3号認定 0歳児(0～3) 1歳児(10) 2歳児(10) 2号認定 3歳児(10) 4歳児(10) 5歳児(10) 計50名 ○教育認定区分(幼稚園) 1号認定 満3歳児～3歳児(5) 4歳児(5) 5歳児(5) 計15名
理事長名	矢巻 行祥
園長名	矢巻 行祥
採用担当者	矢巻(やまき)・川又(かわまた)
電話番号	055-237-4101
保育理念 保育方針 保育目標	<p>保育理念：～ 人づくり ～</p> <p>素朴に純真に忍耐強く、子どもを軸として運動する絆を結び、未来社会への人づくり、園づくりの基礎(基盤)力を育む 保育園は、「働く親の為」というだけの安易な場所ではありません。保育園は、「愛されている確信を一人ひとりの子どもが感じ、安心して充実した日々を過ごし、生きる力をつけ、社会に希望と夢を持てるように支えていく場所」です。未来の社会を担う子ども一人ひとりが大切にされる社会を私たち大人が目指し支えられ育った子ども達が同じように続けていけるようにこの地域で存続させます。地域の中で愛され地域と共に社会を築いていく場所であり続けるために子どもを通した幸せの輪を感じながら、自らの成長と共に・・・</p> <p>保育(教育)目標：ONE FOR ALL ALL FOR ONE ひとりみんなのために、みんなはひとりのために… 思いやりのある子ども、意欲のある子ども、生活の中で決まりの守れる子ども さまざま保育・教育が各園で行われていますが、当園は、既存の概念の枠にとらわれることなく保育者と子どもとの信頼関係を基盤とし、子どもの自由な遊びを通して、感性・表現力・社会性を育てます。「人は人の中でこそ人として育つ」ことを理解し、子どもを取り巻く人的環境(職員・保護者・地域)に重点を置きます。人を大切にし、人に支えられの中で生きていることを感じ、相手を理解し、自らを信じる心の基礎を作ることを目指します。『人を愛せる人』は『人に愛された人』です。社会の中で多くの人に愛される心の基礎は、今、身に付ける必要があります。『相手を思いやる心』『相手の気持ちを汲み取り自分を表現できる心』</p> <p>「心」を育てる関わりや環境を… 一人ひとりの子どもが愛されたという確信を持つことが出来る保育… 「ひとりみんなのために、みんなはひとりのために」という保育目標は、60名(小規模)の定員の保育園だからこそ目指すことが出来る職員全員で取り組んできました。園長は勿論のこと、全職員(職種関係なく)がすべての園児ひとりひとりの家庭環境から日々の成長までしっかり把握し、一人ひとりの成長(心と体)に何が必要なのかを全員が考えられる保育を目指しています(どの園でもあたりまえのことですが、あたりまえだからこそあたりまえに出来ることが大切です)。保育自体が大きく変わってしまっし定員増加をせず、40年以上培ってきた保育に自信を持ち、60名(小規模)の保育園だからこそ目指すことが出来る保育を、職員・保護者・地域でこどもたちの心に伝えたい!!!!</p>
保育環境	夏は木陰、冬は陽だまりに集まり、思い思いに遊びを楽しむ子どもたち。季節によって表情を変える園庭や木の温かみを感じる園舎の中で、子どもも大人も心地良い空間に出会っています。家具や玩具など手に触れるものは自然と調和したあたたかな環境の中で、五感を使って生きる子どもたちは、日々沢山の発見を楽しんでいます。自然の素材が生きたものとなるように配慮し、豊かな環境の中でゆるやかに時間が流れる日常、子ども達が自分のやりたいことに没頭できる時間や空間を大切にしています。
ホームページURL	https://yuuuu-social.com/
事前質問	<p>※「保育の質」についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>子ども達一人ひとりが愛されている確信を持ち、安心して充実した日々を過ごし、生きる力をつけ、社会に希望と夢を持てるように支えていくことが大切だと考えます。その為には保育内容だけでなく、子ども達が過ごす環境や保育士の配置、保育士や栄養士、看護師といった関わる保育者の保育観も大切になってきます。日本と海外では部屋の面積や職員配置といった基準が全く異なります。園の最低基準はあくまでも最低基準です。目の前にいる子ども達の事に真摯に向き合い、子ども達の将来も見据え、今何が出来るのか何が必要なのかを考えていくことが重要です。また、日々の中で子ども達の生活がしっかり保障されること、子ども達自身の意欲や興味に十分に満たされる時間や環境が保障されることが大切だと考えています。</p> <p>「保育の質」の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的に紹介してください。</p> <p>保育内容については職員の事例を基にみんなで保育観を語り合い、そこに大学教授の先生等に助言を頂いたりしながら検証を重ね職員みんなで共有するようにしています。保育士の配置は全クラス複数担任としています。日々の生活は子どもが自分の遊びを選択できるようにし、職員もクラス担任関係なく園全体で子ども達の保育をおこなっています。職員の声掛けで子どもが動くのではなく、子ども達の活動や遊びの発展に合わせて生活が流れるようにしています。時間で区切るのではなく、日々は子ども達が作っていくことを大切にしています。保護者も環境の1つであることを理解してもらい、協力できる保護者集団をつくるため、なぜ〜していくのかという点を明確に方針を示しています。</p> <p>学生の就活において「職員同士の間関係」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。</p> <p>女性が多い職場ということで気にする方が多いとは思いますが、長く勤務するためには人間関係が良いということは大切かと思いますが、それ以上に保育をする上で職員の間関係が良いという事は保育に繋がっていきます。職員がしっかりコミュニケーションをとれることで、事故等が防げることもあります。ただ、仲がいいということではなく、職員全員が同じ方向を向き、みんなで子どもについて語り合えることが良い人間関係かと考えます。また、常に相談できる場があることが重要です。</p> <p>乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。 また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的に教えてください。</p> <p>子ども達にとって安心して気持ちを出せる、受け止めてもらえるという関係性の中で様々な人(保育者や友達)物に出会わせていきます。子どもが見せたい社会を一人ひとりが想像し、子ども達に毎日の景色として見せていくようにしています。保育者と子どもとの信頼関係を基盤とし、子どもの自由な遊びを通して、感性・表現力・社会性を育てています。「人は人の中でこそ人として育つ」ことを理解し、子どもを取り巻く人的環境を大切にします。人を大切にし、人に支えられの中で生きていることを感じ相手を理解し、自らを信じる心の基礎を作ることを目指します。</p> <p>生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。</p> <p>子ども達自身がやろうとして、伸びようとする姿、その時期を大切にしています。また、周りの友だちや出来事を見ることのできる環境も保証しています。大人が先回りするのではなく、子ども達の力を信じ、任せていながら、子ども達が自ら考え、行動しているように見守っています。冬の日、上着を脱いでハンガーに掛けようとしていた3歳児の男の子がいました。「…できない」「かたい!」と上着のファスナーをうまく上げられずに困っていました。しかし、保育者が手伝おうとすると「まって!じぶんでやる!」と諦めずに自分の力でやり遂げようとする姿がありました。翌日は5歳児の子がハンガーに上着を掛ける様子をじっくり見て、その姿を真似たり、他の子からも「こうすればできるよ!」と教えてもらったりする中で、「できた!」と自分の力だけで上着をかけることができました。 *自分でやりたいと向き合っている時間や日々の積み重ねが子ども達の生きる力へと繋がっています。周りの友だちの存在も安心できる心の支えです。</p>
学生へのメッセージ	社会に求める理想を持ち、実際の社会の現実を知る中で現実を理想に近づけるために行動できる人を法人として全力で支援します。必要なものは事業化して地域社会を始め、世界規模で社会のあり方、人としての生き方について考えていく仲間を募集します。